

やさしさが響きあい、
世界とつながる都市・港区

港区職員採用案内

仕事に挑戦、やりがいを求める方へ…

あなたの 想いと力が 港区を動かす

港区は、ビジネスや経済活動の中心地であると同時に、観光地も多く、国内外から多くの人が訪れる魅力的な都市です。職員が自分らしく働ける環境づくりにも力を入れており、キャリア形成支援や多様なワークスタイルを通じて、誰もが活躍できる職場を目指しています。港区で働くことは、地域の未来を支えるやりがいと、職員自身の成長を両立できる選択です。

あなたの力で、
港区に新たな価値を
生み出してみませんか？

Challenge.
Grow. Lead.

Minato City

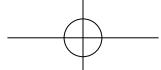


子ども政策課 水町亮太さんの想い

「保育園等の設置認可や保育定員の管理を行っています。地域の保育需要を踏まえながら、新規の保育園等を設置認可することや適正な定員設定を行うことは、高い専門性と大きな責任が伴うものですが、子どもたちの安全・安心を確保することにやりがいを感じ、日々業務に奮闘しています。」

その他、令和6年度入庁職員の声

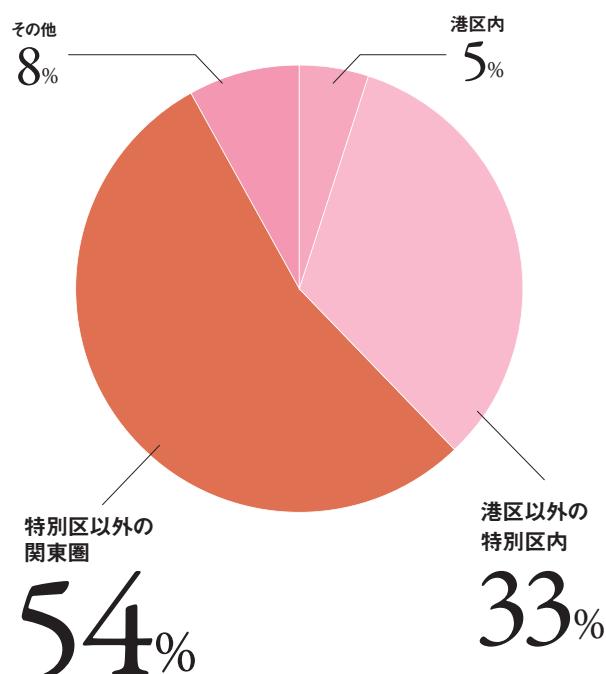
「相手の顔が見える仕事にやりがいを感じながら、常に新しいことに挑戦する姿勢を大切にしています。地域や人の役に立っている実感が、日々の原動力です。」



グラフで見る職員たちのリアル

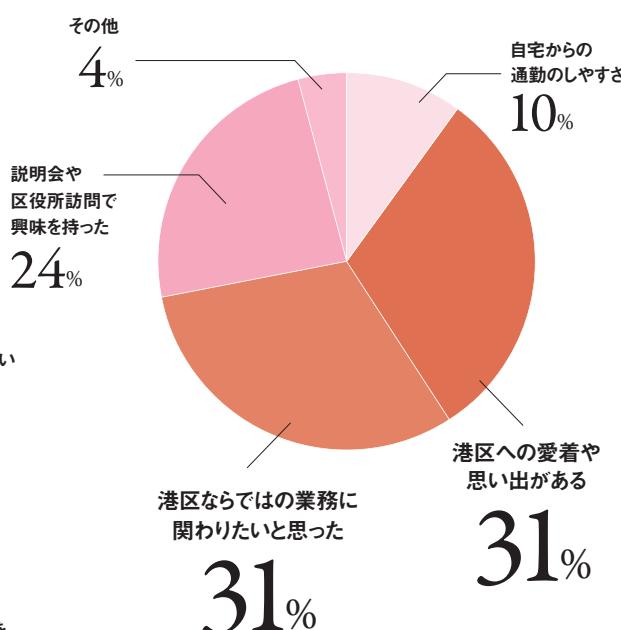
今年度新たに採用された職員を対象に、アンケートを取りました。

Q 港区の内定時の居住地を教えてください

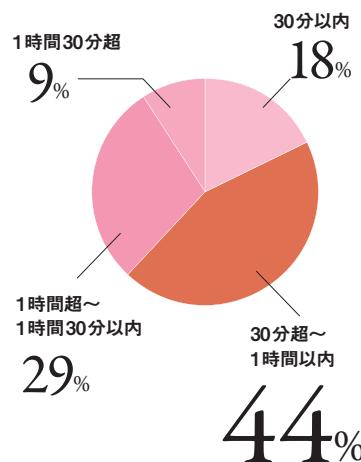


港区には、虎ノ門、六本木、台場など、都心の人気エリアに災害対策住宅（職員住宅）を整備しており、職員は区内の民間住宅と比較して廉価な家賃で住むことができます。通勤に便利なだけでなく、都心ならではの生活と仕事の両立を楽しむことや港区ならではの行政サービスを実感することができます。一方、約85%の職員が港区外に居住しており、港区役所はどこからでも通いやすい勤務地であることから、近隣県に在住する職員も多くいます。自分らしいライフスタイルや居住エリアを選びながら、港区職員として働き続けることもできます。また、全国各地の方が職員採用試験に合格して、港区職員として活躍しています！職員採用に当たっては、出身やお住まいの地域に関係なく、港区民の生活や福祉を向上させたい、区民と一緒に港区全体を発展させたいという熱意を重視しています。「港区は地元ではない」「港区に一度も住んだことがない」という不安をお持ちの方もいらっしゃるかもしれません、港区への愛着や職務に対する高い意欲をお持ちであれば合格できますので、ぜひ港区にご応募ください。

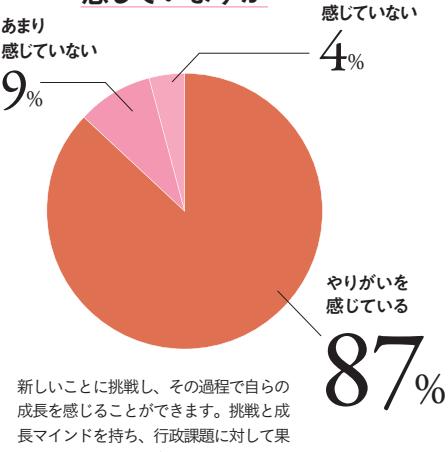
Q 港区を志望した1番の理由を教えてください



Q 現在の通勤時間を教えてください



Q 現在の職務に関して、仕事のやりがいを感じていますか



港区役所を志望した「その他の理由」として、働きやすさや、合同説明会で興味を持ったからといったことがあります。港区では、時差勤務（25バターン）、テレワーク勤務ができるよう、部分休業や介護休暇、介護時間等の各種休暇制度を整備しており、育児や介護と仕事が両立しやすい制度が整っています。平均超過勤務時間は月平均10.4時間です。

気になりますよね休暇のコト

令和6年度実績

職員の平均年次
有給休暇の取得状況

16.5日

夏休付与日数

5日

女性

100%

育休取得率

男性

83.3%



(年次有給休暇に加えて、夏季休暇も付与)

(男性の育休取得率向上にも積極的に取り組んでいます)